

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 高齢者の交通事故防止 対策について	本町では65歳に達した高齢者が町の人口の約40%を占める勢いです。日本人の平均寿命は平成27年で男性80.79歳、女性で87.05歳と過去最高となっております。今後も平均寿命は伸び続けると予想されています。高齢化社会に向けて、今後の制度や、仕組みを見直していかなければならない時期になりました。そこで伺います。
	(1) 本町における高齢者が運転免許を返納している年齢別割合はどれくらいですか。
	(2) 高齢者の運転免許証を自主返納した場合、女川町民バス利用券を交付するなどの制度ができませんか。
	(質問の相手：町長・担当課長)
2 子育て支援について	出産をお祝いし、定住の促進を図るために次代を担う子どもの出生率の向上を図るとともに、出生児の健全で健やかな成長並びに家族への元気、活気あふれる子育ての支援を行うこと、そして安心して子育てのできる町を目指す支援策を考えてほしい。そこで伺います。
	女川町では子どもが生まれた時に支給される、出

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3 後継者対策と人口増加について	産育児一時金のほかに子育て支援制度はありますか。
	(質問の相手：町長・担当課長)
	町の人口が約6,700人となり、町の政策では交流人口を増やすことに力を入れているように思われます。本来、町の人口を増やすこと、減らさないことを一番の重要課題にしなければならないと私は思います。そこで伺います。
	(1) 今現在、奨学金を借りている人数を示してください。
	(2) 多くの子どもが町の奨学金を借りて、町外の大学、専門学校へ就学しています。将来女川に戻ってきた子どもたちについて、奨学金の返済免除を検討することはできませんか。
	(質問の相手：町長・教育長・担当課長)